

⑥ 見守り・支えあい活動をしていない理由

◆見守り・支えあい活動をしていない理由は、「時間的な問題」が半数近い

(問4で「3. 活動していないが、これから活動してみたい」に○をつけた方に)

問4-1. 活動をしていない理由はなんですか。(○は1つ)

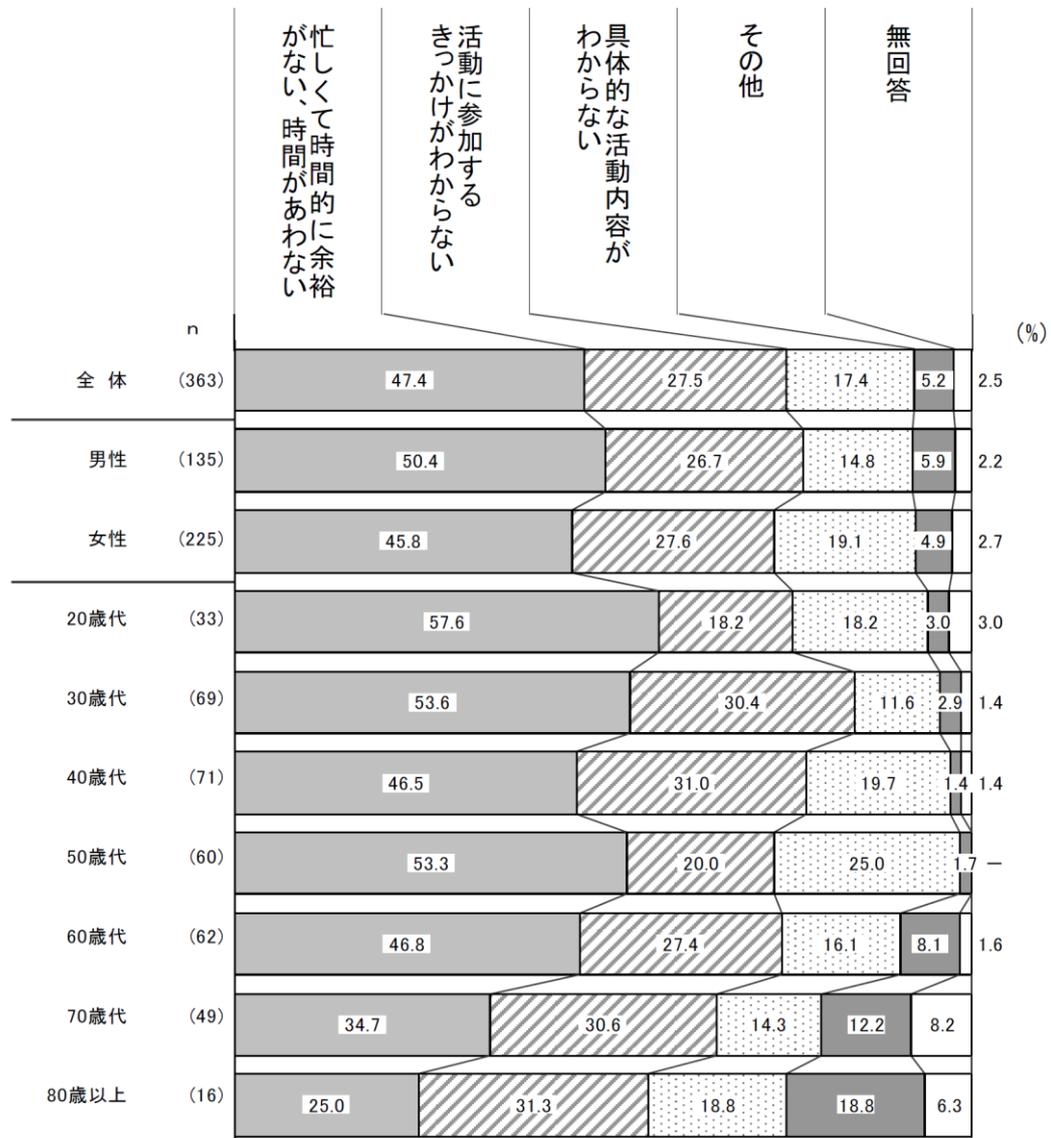
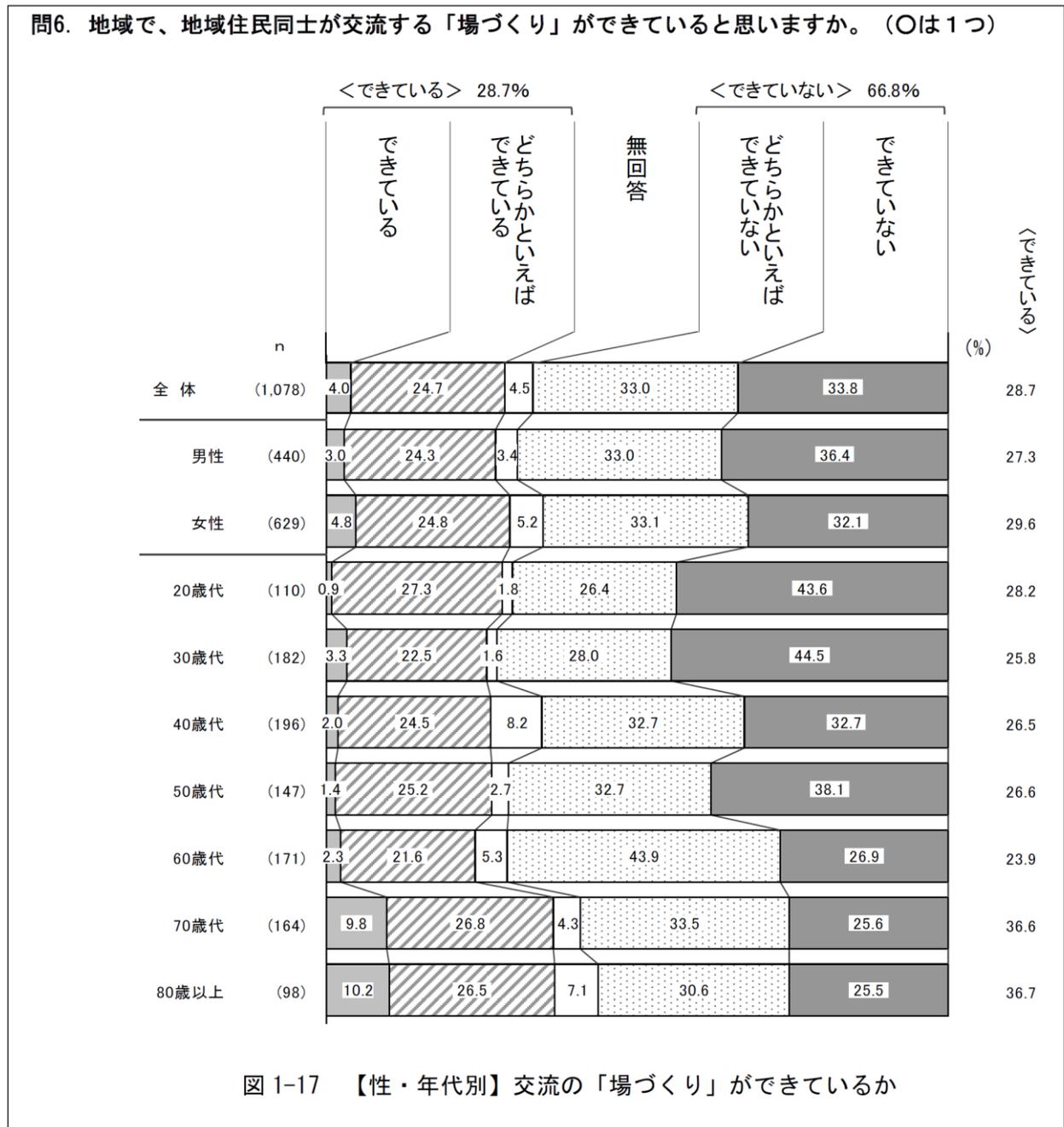


図1-14 【性・年代別】見守り・支えあい活動をしていない理由

見守り・支えあい活動をしていない理由は、「忙しくて時間的に余裕がない、時間があわない」(47.4%)と半数近くになっている。年代別にみると、20歳代、30歳代、50歳代で、「忙しくて時間的に余裕がない、時間があわない」の割合が5割半ばと高くなっている。

⑦ 地域住民同士が交流する「場づくり」の状況

◆交流の場づくりができていない>が7割弱



地域で地域住民同士が交流する「場づくり」は、「どちらかといえばできていない」(33.0%)と「できていない」(33.8%)を合わせた<できていない>は約67%と、7割弱を占めている。年代別にみると、30歳代では「できていない」が高くなっている。

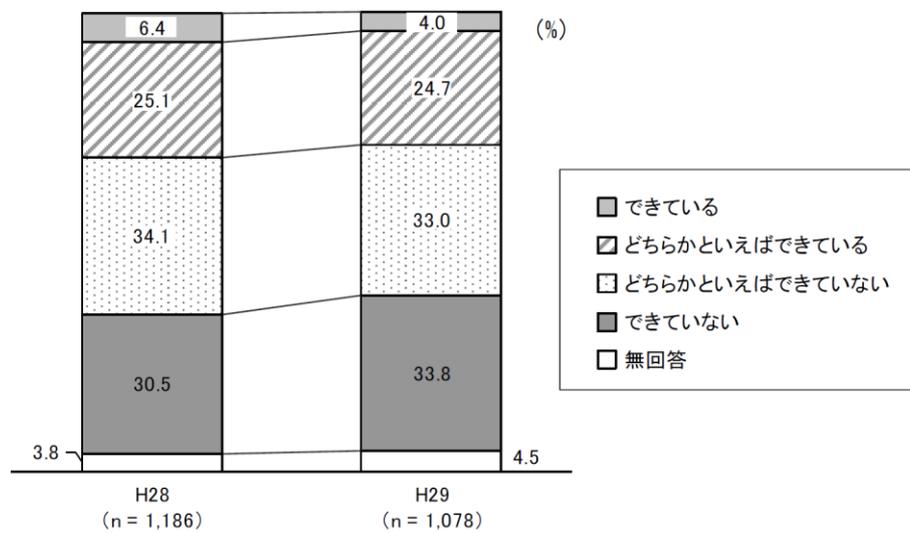


図 1-18 【経年比較】 交流の「場づくり」ができているか

経年で比較すると、「できていない」が増えている。

第3期いきいきプラン推進委員会委員名簿

＜任期：2018年4月1日～2020年3月31日＞

(敬称略)

No.	氏名	選出区分	役職名
○ 1	小野 武	民生児童委員協議会	中野区民生児童委員協議会会長
2	中山 浩一	町会・自治会	宮桃町会会長
3	岩浅 英樹	中野区(行政機関)	中野区健康福祉部福祉推進分野副参事 (2018年11月30日退任)
	長崎 武史	中野区(行政機関)	中野区健康福祉部福祉推進分野副参事 (2018年12月1日委嘱)
4	滝瀬 裕之	中野区(行政機関)	中野区地域支えあい推進室 副参事 (地域包括ケア推進分野)
5	荒井 弘巳	中野区(行政機関)	南部すこやか福祉センター 副参事 (地域支援担当)
6	浮ヶ谷 せつ子	ボランティア関係者	南中野ボランティアコーナー会長
7	鈴木 孝雄	ボランティア関係者	まちなかサロン「白鷺」代表
8	道林 京子	ボランティア関係者	なかの生涯学習サポーターの会会長
9	増子 和人	社会福祉関係者	南中野地域包括支援センター所長
10	森 京子	社会福祉関係者	中野区介護サービス事業所連絡会副会長
11	駒野 登志夫	社会福祉法人(高齢者)	社会福祉法人武蔵野療園理事長
12	上西 陽子	社会福祉法人(障害者)	社会福祉法人中野あいいく会理事長
13	富田 真紀子	NPO法人(高齢者)	NPO法人なかの里をつむぐ会
14	松田 和也	NPO法人(障害者)	NPO法人リトルポケット理事長
15	大畑 きぬ代	NPO法人(子ども)	チャイルドライン中野子ども電話主宰
16	村上 昌子	NPO法人(子ども)	NPO法人きいろいひよこ
17	菊池 圭二	商工関係	東京商工会議所中野支部事務局長
◎ 18	宮城 孝	学識経験者	法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科教授
○ 19	加山 弾	学識経験者	東洋大学社会学部社会福祉学科教授
○ 20	森川 洋	学識経験者	帝京平成大学現代ライフ学部 人間文化学科講師

◎委員長 ○副委員長

いきいきプラン第2期実施計画 作業委員会名簿

＜任期：2018年4月1日～2020年3月31日＞

 いきいきプラン推進委員会委員
 ＜敬称略＞

◎

No.	氏名	選出区分	役職名
1	加山 弾	学識経験者	東洋大学社会学部社会福祉学科教授
2	道林 京子	ボランティア関係者	なかの生涯学習サポーターの会会長
3	上西 陽子	社会福祉法人(障害者)	社会福祉法人中野あいいく会理事長
4	森川 洋	学識経験者	帝京平成大学現代ライフ学部人間文化学科講師
5	高橋恵美子	NPO法人(若年性認知症)	NPO法人若年認知症交流会小さな旅人たちの会理事長
6	大西 桃子	子ども関係	中野よもぎ塾代表
7	内海 和明	社協関係者	社会貢献型後見人
8	芹田 慶三	区民活動センター	桃園区民活動センター運営委員会事務局長
9	酒井 兼重	ボランティア関係者	中野傾聴ボランティア「きくぞう」
10	池内 明日香	行政	地域包括ケア推進分野地域包括ケア推進担当係長

◎委員長

用語説明

まちなかサロン (P 3)

区民の自宅や区民活動センター等を会場に、区民同士が気軽に集える“憩いの場”として中野社協が支援しながら一緒に立ち上げたサロン。子育て中のお母さん方からシニアの世代などが集い交流できるきっかけづくりを行っています。サロンの運営は自宅などを開放してくださる区民、ボランティアスタッフを中心に、参加者ご本人、町会・自治会や民生・児童委員の皆さんの協力とともに実施

地域の居場所交流会 (P 3)

地域で居場所活動をしている皆さんにお声掛けをして情報交換会を中心に、お互いの活動の発表やプログラムについての勉強会を実施

すこやか福祉センター圏域情報交換会 (P 3)

子育て、保健・福祉、支えあいの地域拠点として、相談・支援のほか各種事業や福祉サービスの受付を行う機関として、中野区内に4か所、中野区すこやか福祉センターが設置されています。その4か所の中野区すこやか福祉センターのエリアごとに行われる情報交換会を実施。情報交換会の対象は、地域の居場所の運営をしている団体となっている

地域における公益的な取組み (P 4)

社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本来の主旨から導かれる本来の役割を明確化するため、地域のニーズに対応した取組みを行うこと

なかの地域福祉推進フォーラム (P 4)

地域で活動している団体や地域活動等に関心のある区民とともに、中野の地域課題について考える場として実施

協働事業プロジェクト (P 4)

区内で施設運営をしている社会福祉法人が集まり、中野の地域課題に協力して取り組むためのプロジェクト

高齢者困りごと支援事業 (P 5)

区内在住の概ね65歳以上の高齢者の一人暮らしや高齢者世帯を対象に、30分以内で終了する電球交換や荷物の移動などの簡易な支援を行う制度

なかの災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座 (P 5)

災害発生時に、災害支援のボランティアが活動するためのボランティアセンター(災害ボランティアセンター)の運営スタッフを養成する講座

アウトリーチ (P 6)

援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して、積極的に働きかけて支援の実現を目指すソーシャルワークの手法のひとつ

あんしんサポート (P 6)

一人暮らしや身寄りのない高齢者の方々の、これからの支えるサービス。日常的な見守りから入院時の対応、亡くなった後の手続きなどを有料で実施。

地域福祉権利擁護事業 (P 6)

判断能力が不十分な高齢者、精神障害者、知的障害者の福祉サービスの利用援助と日常的な金銭管理の支援を行う制度

アウトリーチチーム (P 6)

区民活動センター単位(15地域)に設置された事務職および医療・福祉の専門職で構成されたチーム。地域包括ケアシステムの構築に向け、地域での取り組みを推進する他、支援を必要とする人を発見し、適切な支援に繋がるよう多職種の連携体制で対応

エンディングノート (P 6)

自分に万が一のことが起こった時に備え、あらかじめ家族やまわりの人に伝えたいことを書き留めておくノートや手紙のこと

社会貢献型後見人（P 6）

弁護士などの専門職や親族ではなく、社会貢献的な精神のもと、成年後見の業務を担う後見人の事。市民後見人ともよばれている

生活困窮者自立支援事業（P 10）

全国の福祉事務所設置自治体が実施主体となって、官民協働による地域の支援体制を構築し、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業その他生活困窮者の自立の促進に関し包括的な事業を実施

NPO法人（P 11）

“Non Profit Organization”（Non Profit＝非営利、Organization＝組織）の略語。非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体や任意団体などのボランティア組織や団体で法人格を持っているもの

LGBT（P 12）

LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、それぞれの英語の頭文字からとったセクシャルマイノリティの総称

NPO団体（P 12）

“Non Profit Organization”（Non Profit＝非営利、Organization＝組織）の略語。非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体や任意団体などのボランティア組織や団体